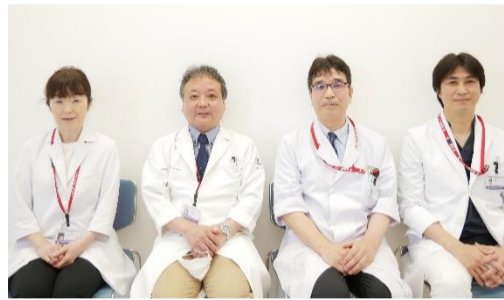


藤田医科大学 七栗記念病院 緩和ケア病棟

本学の緩和ケアの歴史は古く、1987年には七栗記念病院に緩和ケア病棟（現20床）が設置され、1997年には大学病院としては全国で初めて緩和ケア病棟として認可されました。



左から
村井美代講師
臼井正信主任教授
伊藤彰博病院教授
藤崎宏之助教

2019年



以前はボランティアさんの協力をいただきながら毎週開催していたお茶会ですが、COVID-19の影響により2020年度は中止せざるを得ませんでした。現在もボランティアさんの協力を得ることは困難な状況ですが、2021年度からは当院介護福祉士の協力を得て、感染対策を行いながら小規模のお茶会を再開しています。

現在



緩和ケア病棟には地元の農林高校（ガーデニングコース）の学生が制作した中庭があります。テラスもあり天候が良ければ外で過ごしたり、草抜きをしたり。患者さんやご家族の笑顔が多くみられる場所です。患者さんが逝去された時にはこのガーデンから小さなブーケを作って送らせていただいています。



リハビリ・口腔ケア



季節や見た目を大切に食事の提供



がん看護専門看護師



田中 雄規



大野 礼子



山口 久美子

七栗記念病院では多職種との連携も活発に行っています。口腔内を清潔に保つために歯科が専門の口腔ケアを提供、NSTでは一日でも長く経口摂取できるように介入。そして、回復期リハビリテーション医療を展開している当院では、機能を失っていく終末期がん患者さんのさまざまな希望を支えるためにリハビリも実施しています。



がん性疼痛看護認定看護師
橋本 勝利



緩和ケア認定看護師
市川 タ子